

森づくり サポーターニュース

びわこ地球市民の森
びわこ地球市民の森

Vol. 85

令和5年6月20日号

びわこ地球市民の森(森づくりセンター) 〒524-0102 滋賀県守山市水保町2727
TEL:077-585-6333 FAX:077-585-6312
biwako@moridukuri.info https://www.moridukuri.info

出会いのゾーンにおける森づくりの特長について (1)

出会いというゾーン名はおそらく、ゾーンと浜街道(県道26号)(477号と重複)という周囲で一番交通量の多い道路が接点で、ここから森に入ってほしいとの意図からでしょう。公園用地である旧野洲川南流跡地は流れの最上流であり、5つのゾーンを経て琵琶湖に繋(つな)がっているというのも、出会いというイメージにあっています。出会いのゾーンのコンセプトは『多様な森への誘(いざな)い、人と森との出会いの場』です。

477号バイパスまでの出会いのゾーンは、東側に原っぱ(自由広場)、西側は水路を挟んで県道側に平地林、市道側に里山をイメージしています(下図参照)。このゾーンは2007年(平成19年)前後に植えたもので、樹齢は18年前後になります。南の里山は私の好きなエリアで小高く、モリモリ山、森の小路、林冠トレイル(自然遊歩道)のような陸橋、県道方面を望む展望台と変化に富んでいます。全体にブナ科のクヌギやコナラなど、ニレ科のケヤキ、ムクノキ、アキニレなどが主体で、秋にはドングリや実がなります。春はエドヒガン、コブシ、秋はウリハダカエデやヤマモミジなどが目立ちます。展望台下のユズリハも大きくなりました。タブノキや護岸の自然生えのネムノキも太く大きくなっています。北の平地林は緩やかな勾配の土地で、県道寄りにカシワが群生状に植えられています。春には園路に沿って中国原産のハクモクレンやサンシュユ、レンギョウ、ユキヤナギなどが黄色や白の花を咲かせます。

上流と繋げ更地に新たに造った水路(流れ)は、公園の全長3.2km、高低差4mで、勾配が約1/1,000という超緩やかなものです。水源は上流からの農業用水と雨水ですが、どんな大雨でも水路周辺の調整池などにプールされ徐々に引いて、南の市道や北の県道へ流れ出ないように工夫のうえ計画されています。ただ年々水深が浅くなり、数年ごとの浚渫(しゅんせつ)は必要です。

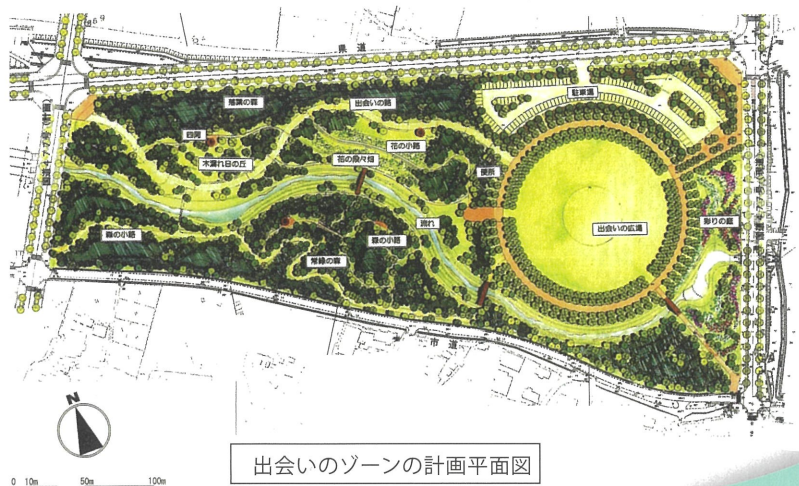
昨年度から公募設置管理制度(P-PFI)事業により、主に出会いのゾーンでハード面の施設設置が始まりました。施設は森との融合が大切です。森になじみ、溶け込んでいくことを望んでいます。



モリモリ山に登る階段(サポーター制作)あたり



林間トレイルのような陸橋(下は森の小路)



出会いのゾーンの計画平面図

2022年4月から未来もりやま21が指定管理者として運営してきましたが、出会いのゾーンの大型遊具“にじの丘BIWAMORI”の完成など、ようやく皆様にお披露目できる運びとなりました。その完成に合わせ、2023.4.22(土)にキックオフイベントを開催いたしました。びわ湖手作り市presents～カレー日和の同日開催で朝から多くの方にご来場いただき、誠にありがとうございました。また来賓・関係者の皆様お忙しい中、足を運んでいただき感謝申し上げます。

イベント当日の様子



晴天の中イベントが開催されました キックオフガーデンに種を植えるお子様 今後20年の構想パネル NEW OPENした大型遊具

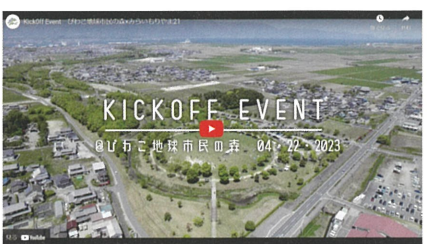


近隣の子供たち約130名の人文字アートをドローンで撮影 明富中学校2年生による吹奏楽 未来もりやま21 鶏飼代表取締役のキックオフ宣言



イベントに来場いただいた来賓様と関係者の皆様 スパイスカレー店がズラリ勢ぞろいする『カレー日和』を同時開催

キックオフイベント YOUTUBE



イベント当日の動画を配信しています。ぜひご覧ください。



第1回森づくりサポーター活動 <育樹活動&自然教室> 開催!

これまでサポーター活動は、育樹活動と自然教室を同時に開催していましたが、今年度は別々の日に分けて実施することとしました。自然教室は、令和5年5月13日(土)、新緑が鮮やかな絶好の晴天のもとで、森づくりサポーター24名、ガールスカウト20名、計44名の皆さんが参加し、開会式と活動内容の説明のあと、まず里の森ゾーンの平成25年植樹地で混みあった樹木の間伐を行いました。伐採は3人ほどのグループを組み、ノコギリで伐る作業は皆さん一生懸命で、間伐後は森が明るくなりました。ひと汗かいたあとはクイズラリー形式で、里の森ゾーンからふれあいゾーンへの自然観察です。江見先生の指導のもと、アラカシ、ムベ、オニグルミ、ムクロジ、ヤブニッケイの葉、ハマヒルガオの花やオオバヤシヤブシの実、クヌギの幹の形状などを観察しながら15の問題に真剣に取り組みました。観察を終えて森づくりセンターで答え合わせをし、その結果に皆さん悲喜こもももの歓声を上げていました。



開会式の様子



里の森ゾーンでの間伐、枝払い作業



アラカシの葉の観察 ハマヒルガオの花の観察 ムベの葉の観察 オニグルミの葉の観察

育樹活動は5月30日(火)、心配していた雨も朝方には止み、時おり初夏の日差しが差し込む天候のもとで、森づくりサポーター71名の皆さんが参加し、平塚所長の開会あいさつと作業内容の説明のあと、出会いのゾーンに移動し森の活動が始まりました。作業は、平成19年から20年にかけて植樹した森の枝払いや間伐作業です。森づくりサポーターの皆さんは、少し太い木もありノコギリで伐り倒して枝払い玉切りし、集積する作業が大変でしたが、最後まで熱心に取り組んでいました。



開会式の様子

また、お昼の食事の引き換えにお願いした間伐材の輪切りを皆さん一生懸命作成されていました。



間伐作業 枝払い作業 輪切り作業 輪切り材

参加していただきました皆さん、ありがとうございました。次回のサポーター活動も、育樹活動と自然教室を別の日に開催しますのでご了解いただきますとともに、双方とも多くの皆様のご参加をお待ちしています。

森づくりサポーターの皆さまへ

LINE公式アカウントはじめました!



@021iriqs



森づくり
トピックス

「友だち追加」から上記IDを検索するか、
右のQRコードを読み込んでください



びわこ地球市民の森
友だち 999,999 フォロワー 999,999



友だち追加

このような情報を
配信いたします



サポーター活動の募集

通常サポーター活動以外の森林整備、竹林整備、その他サ
ポート活動(イベント等)の募集

イベント情報

モリック、デイキャンプ、親睦会等各種イベントのお知らせ

個々でのご参加もお待ちしております

お知らせ

第2回「森づくりサポーター活動」のご案内

暑い時期ですが、
皆様のお越しをお待ちしています。

開催期日

令和5年 7月20日(木) 育樹活動(出会いのゾーン)

7月22日(土) 自然教室(里の森ゾーン)

森のデータ

森の面積	42.5ha
森の延長	3.2km
森の幅	100~200m
植樹面積	80,808㎡
植樹期間	H13~H25
植樹活動参加者数	45,994人
植樹本数	160,967本
森への利用者数(R4)	241,551人
森づくり活動参加者数(R4)	3,418人
うち育樹活動参加者数(R4)	2,549人



今年度はサポーター活動で実施しています
育樹活動を平日、自然教室を休日に分けて
開催することとしました。これまでサポーター
活動は休日に行っていましたが、森への
来園者が多いため、育樹活動による安全面を考え平日にしたも
のです。これにより育樹活動、自然教室ともに参加することがで
きるようになり、サポーター活動の人数増加につながるものと期
待しています。